

ダイヤテックス

# 合成樹脂系の生産増強

## 今夏黒部に新基幹工場

三菱ケミカルの子会社で産業資材メーカーのダイヤテックス（東京都千代田区、桶屋康裕社長）は、主力拠点の黒部工場（黒部市沓掛）で、基幹となる第1工場を新築する。合成樹脂を原料とする糸（フラットヤーン）の生産能力を1割増やして年5500トとし、高い強度と軽量、反発性を併せ持つ新素材「KaRVO（カルヴォ）」や、粘着テープの需要増に対応する。

敷地内の倉庫跡地に建設する新第1工場は、10棟ある工場のうちの基幹的な機能を

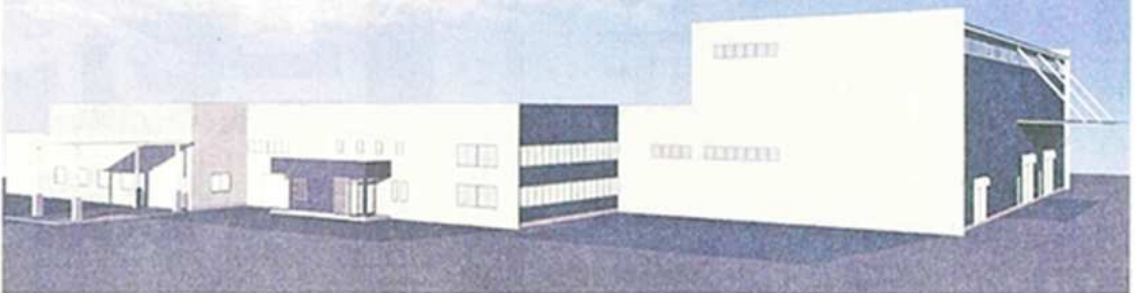
担う。鉄骨一部2階建てで延べ床面積は5500平方メートル。8月の完成を予定し、製造ラ

インを含む総投資額は11億円。

ダイヤテックスは、フラットヤーンなどの素材から、粘着シートや人工芝といった最終製品まで一貫生産できるのが強みで、建築分野向けの粘着テープは国内トップシェアを誇る。カルヴォを用いた靴は軽さと反発力を備え、紳士靴やスポーツシューズの中底に採用されているほか、ギプスなどの医療用器具や旅行かばんなどでの需要が見込まれている。

カルヴォの需要が毎年5%ずつ伸びてきているほか、今後は2020年東京五輪に向けて、建築関係で用いる粘着テープの需要増も期待されている。

桶屋社長は「黒部市に工場を移転し、今年でちょうど50年。節目の年に、ペースとな



①ダイヤテックスの新第1工場の完成予想図  
②黒部市沓掛の建設予定地

る素材生産の工場を新しし、次の新製品づくりへの台としたい」と話している